

白根風土記

常陸山の愛弟子

日光山のお通夜

巡業地白根にて



相模原ならぶや秋の唐錦 風雲の匂にも見られるが、明治の末は同運の隆盛と共に、東に常陸山、西に梅ヶ谷の両横綱。大関に駒ヶ嶽、西の海の名力士...

十五間切れの哀話

潜水排水用として開鑿した中之川は泥溜地帯を莫大な陸地に變じて呉れたが、潜水排水の流れた物に物凄く臭がした、その臭の中に総べてが没した...

川が切れるから土手へ逃げられ、と云はれ、夢中に土手へ駆け上った時は切れた時、濁流の流れた物凄く臭がした、その臭の中に総べてが没した...

何時間のことか知らないが、白根がまだ西の麓の麓根が果々茫々とした荒涼たる地であった時代に、勇敢な開拓者達が適地を求めて、傍か、求められた...

つたことは今も昔も余り変りはない。先づ其の頃の作者と云へば正立寺路村、加藤安雅、加藤清風、鈴木藤、児玉加賀丸、沢田一清、少し是れて眞島皆雲などが...

命の一事はやがて山を下り、現在の小須戸の地より河を渡って戸石に上陸し、白根を通って弥彦に向はれたのである。其の時、現在の戸石の地に大和民族の北上を知った短距離が彼の財宝を埋めその上に大きな石の戸を立けておいたのである、その土地を戸石と云うのである。

河童となつて命の北上を妨げ又後世の旧家でもあったので、以上は大休みの調べた極めて狭い範囲の、ここにはスペースの閑係で作品まで発表できない、いつれ、明治、大正の先人の伝記と共に稿を更めて書き度いと思ふ。

「河童の巻」 今を去る千五百年前、ニギハヤヒより東北征伐の命を受けた天香具山命は、北陸道を経て北進しつゝ、護摩堂山までやつて来た...

新春初夢 異木越後風土記の内

川柳

川柳 吉川 醉木地

まことに母のない子の母の役目さんご機嫌で掃いてゆき...

短歌

短歌 眞田 千佳子

淡々と竹やぶ染めて西の陽の人より...

柔剣道大会

職後初の柔剣道大会が去る三月二十一日白根小学校に於て開かれた。

落雁風菓子

優良商品の認奨を受く

県内生産品の販路開拓及び品質の改良を図る目的をもつて...

相模原ならぶや秋の唐錦 風雲の匂にも見られるが、明治の末は同運の隆盛と共に、東に常陸山、西に梅ヶ谷の両横綱。大関に駒ヶ嶽、西の海の名力士...

川が切れるから土手へ逃げられ、と云はれ、夢中に土手へ駆け上った時は切れた時、濁流の流れた物凄く臭がした、その臭の中に総べてが没した...

何時間のことか知らないが、白根がまだ西の麓の麓根が果々茫々とした荒涼たる地であった時代に、勇敢な開拓者達が適地を求めて、傍か、求められた...

つたことは今も昔も余り変りはない。先づ其の頃の作者と云へば正立寺路村、加藤安雅、加藤清風、鈴木藤、児玉加賀丸、沢田一清、少し是れて眞島皆雲などが...

命の一事はやがて山を下り、現在の小須戸の地より河を渡って戸石に上陸し、白根を通って弥彦に向はれたのである。其の時、現在の戸石の地に大和民族の北上を知った短距離が彼の財宝を埋めその上に大きな石の戸を立けておいたのである、その土地を戸石と云うのである。

河童となつて命の北上を妨げ又後世の旧家でもあったので、以上は大休みの調べた極めて狭い範囲の、ここにはスペースの閑係で作品まで発表できない、いつれ、明治、大正の先人の伝記と共に稿を更めて書き度いと思ふ。

「河童の巻」 今を去る千五百年前、ニギハヤヒより東北征伐の命を受けた天香具山命は、北陸道を経て北進しつゝ、護摩堂山までやつて来た...

新春初夢 異木越後風土記の内

川柳

川柳 吉川 醉木地

まことに母のない子の母の役目さんご機嫌で掃いてゆき...

短歌

短歌 眞田 千佳子

淡々と竹やぶ染めて西の陽の人より...

柔剣道大会

職後初の柔剣道大会が去る三月二十一日白根小学校に於て開かれた。

落雁風菓子

優良商品の認奨を受く

県内生産品の販路開拓及び品質の改良を図る目的をもつて...